

フォーラム 「子どもの貧困 を考える」

定員 **300** 名

**参加費
無料**

—北海道・札幌市における子どもの生活実態調査から—

昨年度、北海道大学・北海道と札幌市は「子どもの生活実態調査」を行いました。調査票の記入にご協力いただいた方が約2万4千人という大規模なものです。今回、この結果の概要を報告し、子どもの貧困対策を考えるフォーラムを開催します。あわせて、テーマを絞った連続フォーラムを行います（裏面参照）。ぜひご参加ください。

開催概要

- 日時 平成29年**12月16日**(土) 13:00～16:00 (12:00開場)
- 会場 北海道大学 学術交流会館 講堂 (札幌市北区北8西5 正門入ってすぐ左、駐車スペースなし)
- 対象 関心のある方どなたでも ※参加無料、託児あり(要申込)、要約筆記あり
- 主催 北海道、札幌市、北海道大学大学院教育学研究院「子どもの生活実態調査」研究班
- 共催 北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター、北海道新聞社
- 後援 (予定) 北海道経済連合会、北海道経済同友会、一般社団法人北海道商工会議所連合会
北海道商工会連合会、北海道中小企業団体中央会

プログラム

第1部	挨拶	北海道／札幌市／北海道大学大学院教育学研究院
	報告	「調査からみる子どもの貧困」 松本 伊智朗 (北海道大学教授、研究班代表) 調査結果の概要と論点を示します。
第2部	パネル ディス カッ ション	「北海道の子どもの貧困対策を考える」 調査結果をもとに、行政担当者、研究者、市民活動の立場から報告し、 子どもの貧困対策のあり方を探ります。 ◎パネリスト 北海道子ども未来推進局、札幌市子ども育成部 山野 良一氏 (名寄市立大学教授)、辻 智子氏 (北海道大学准教授) 高橋 勇造氏 (NPO法人Kacotam理事長)、村尾 政樹氏 ((公財)あすのば事務局長) ◎司会 松本 伊智朗

■ 参加申込 (平成29年**12月6日**(水) 締め切り)

Web <https://www.harp.lg.jp/sdwnhvtg> ※携帯電話・スマートフォンからはこちら →

FAX 011-232-4240 下記の申込書にご記入の上、送信してください。

※ 締め切りを超えた場合でも定員に満たない場合は、随時受け付けし、当日参加も受け付けます。



氏名 (ふりがな)	連絡先 (電話またはE-mail)	
託児利用 (事前申込のみ)	託児されるお子様の年齢と人数	ご所属など
有・無		